

整理番号	15-15	事務事業名	交通傷害保険事業		作成部署	市民生活課 交通安全担当		電話	内線824
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月	
事務事業開始年度	昭和44年	根拠法令等	北広島市交通傷害保障条例、同条例施行規則						
〃 終了予定年度									
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市が交通事故により傷害を受けた者を救済するため、市民交通保険制度を設け、もって市民の生活の安全と福祉の増進に寄与することを目的に事業がスタートした。								

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	防犯と交通安全	(第 8 節)
	施策	交通安全の推進	(第 2 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	北広島市民及び外国人登録をしている者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	安価な掛金により、加入者が万一交通事故により負傷を受けた場合の救済を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	16年度まで	1 市民に対する事業の周知と加入促進 2 前年度加入者に対する納付書の送付(年度途中加入者の受付等) 3 当初は市役所だけで受付けをしていたが、市民の利便性と加入促進を図るため、指定金融機関及び収納代理金融機関でも取扱を可能とした。 4 加入者で負傷した者の保険金支払い手続き	
	17年度	上記平成15年度までの1、2、4を継続実施	

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	3,883	3,124	4,885	5,411
	一般財源	279	296	260	206
	合計	4,162	3,420	5,145	5,617
人件費(概算)	人数(年間)	0.20	0.20	0.20	0.20
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	1,800	1,800	1,800	1,800
総事業費 +	5,962	5,220	6,945	7,417	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	加入世帯数	1,193	1,150	1,965	1,650
	加入者数	2,592	2,487	4,255	3,570
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	加入率 (加入世帯/総世帯)	5.1%	4.8%	8.0%	6.7%
	(加入者数/総人口)	4.3%	4.1%	7.0%	5.9%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	加入者1人当たりコスト (総事業費÷加入者数)	2,300円	2,100円	1,630円	2,070円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	年々加入者も減少してきているが、掛け金も安いことから高齢者等を中心に根強い人気があるのも事実であるが、全国的には廃止する傾向にある。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	民間等の保険制度が充実する中で、市が行う意味合いは若干薄れてきている。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	加入者数も年々減少していることから、当初の目的はある程度達成しているとも考えられる。	加入者数が年々減少しているため、廃止の方向で検討しなければならない。
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	前年度加入者に対する納付書の送付や指定金融機関での取り扱いもしていることから、市民サービスの点では妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	加入者は年々減少しているが、万一交通事故で負傷を受けた場合の救済としては、概ね評価できる。	今後、廃止も含めた方向で検討しなければならない。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率		

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	高齢者等を中心に根強い人気のある事業であるが、加入者数も年々減少していることから、廃止の方向で検討していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	加入者の減少や民間保険の充実など社会情勢の変化により、一定の役割を終えたと判断できることから、事業の廃止を検討する。